

STT072-05

会場:展示ホール7別室1

時間: 5月27日10:00-10:15

PALSAR ScanSARインタフェロメトリによる広域地殻変動検出の試み

A trial of extraction of wide range crustal movement using PALSAR ScanSAR interferometry

宮脇 正典^{1*}, 山口 志野¹, 木村 恒一²

Masanori Miyawaki^{1*}, Shino Yamaguchi¹, Tsunekazu Kimura²

¹NEC航空宇宙システム, ²日本電気 (株)

¹NEC Aerospace Systems, ²NEC

ALOS PALSARのSARインタフェロメトリ技術を用いた地殻変動検出は多くのすばらしい成果をあげてきた。これらは、高分解能モード（ストリップマップモード）の観測データを用いて解析されたものである。高分解能モードは、観測幅が70kmに限られているため、100kmを超えるような広域の地殻変動の抽出には課題が残る。

PALSARは、ScanSARモード（観測幅350km）を有しており、広域の地殻変動検出も期待できるが、これまで、SARインタフェロメトリ解析にはほとんど用いられて来なかった。

我々は、PALSAR ScanSARインタフェロメトリ解析を用いて、2008年中国四川地震における非常に広域に及ぶ地殻変動の抽出に同年成功し、ScanSARインタフェロメトリ解析の有効性を示した。

その後、いくつかの地域について、多くのペアのScanSARインタフェロメトリ解析を試み、いろいろな条件による干渉解析の可否に関する知見を得た。本発表では、ScanSARインタフェロメトリの解析結果の例を紹介するとともに、ScanSARインタフェロメトリ解析における干渉条件、有効性、課題について報告する。

キーワード: PALSAR, ScanSAR, インタフェロメトリ, 地殻変動

Keywords: PALSAR, ScanSAR, interferometry, crustal movement